

私たちは、命のつながりに思いを馳せる暮らしを提案し、心豊かな生き方のお手伝いをします。

創業 明治 44 年 命のつながりを想う



長門屋

お城の店が目印です。

発行 有限会社 長門屋
編集：未来の種まき委員会
990-0042
山形市七日町 1-4-12
TEL 023-622-2204
FAX 023-622-2203
<http://oshironomise.com>
2022 年新春 第 38 号

あどつあま

“あどつあま”とは…

仏様をさす方言。米沢の方では住職様、僧侶をさすそうです。
宗教の知識を通してお役にたてれば嬉しいです。

2021 年は こんなことがありました！
皆さまからのご厚情に、心より御礼申し上げます。

長門屋の五大ニュース！

1. 創業 110 周年を迎えることができました！



今も蔵にはたくさんの漆器が！

明治 44 年、漆器の行商から始まった長門屋は、お陰様で創業 110 周年を迎えました。お城の形の店構えは相変わらずですが、店内は変化し続けています。お客様、地域から愛される会社を目指し、これからも精進してまいります。

2. スタッフ斎藤金五郎さんが優良従業員表彰受賞！

斎藤さんが、11 月 17 日山形商工会議所の 2021 年度優良従業員表彰を受賞しました。勤続 42 年 3 ヶ月。現在はお仏壇の修復・リメイク工房職人として活躍中ですが、それ以外にも建物のちょっとした配線工事やお直しまでしてくれるので、みんなとっても頼りにしています。



これからもますます活躍してくださいね。

3. 新しいスタッフが増えました！



毎日覚えることがいっぱい
です。

4 月入社の高橋百合子さんは、高 1 と中 2 の息子さんを持つママスタッフ。「以前から日本の伝統文化や仏事に興味があり、昨年、身内の葬儀にかかわったことで、もっと深く学びたいと思いました。」と、私たちの仲間になってくれました。

4. お仏壇の修復・リメイク工房の見学会を開催！

「大型仏壇を小さくできたら引き継げるのだが…」という声に応えるリメイクサービスが好評です。9 月に開催した工房見学会は、参加されたお客様のお仏壇を巡るファミリーストーリーに触れる機会でもありました。



皆様、興味津々で覗きこまれました。

5. 映画「丸八やたら漬」に長門屋が登場！



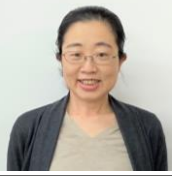
映画「丸八やたら漬」

ごく近所の創業 135 年の老舗漬物店「丸八やたら漬」さんが、惜しまれながら 2021 年 5 月に閉店。「これは、いち地方の漬物店が閉店するだけでなく、一つの文化と歴史の消失であるとともに、あなたの街の物語でもあります」とのメッセージが込められたこの映画に、ちらりと長門屋も登場しています。ぜひ多くの方に観てほしいです。



特報で流れた一場面。

長門屋スタッフ 新年の抱負を込めた「私の一文字」



よろこぶ
喜

「喜ばば 喜びごとが 喜び連れて 喜びに来る」
ほんのちょっとしたことを素直に受け取り喜べる自分になりたいです。
笹林陽子

半年前から蔵の片づけをしていて、掛け軸や本など見る機会が増えています。読めなくとも、よくよくながめっているとそれとなく雰囲気分かる時もあるので、心して見るようにしたいです。

山口雪江

よむ
読



じ
自

自立から自律を目指したい。自分を自覚することから始めてみよう。
国島潤一

「カワ」ではありません。「カク」です。前のものを取り払って、様子を変える。改めるの意。コロナを経験してさらに、大量の情報と接することがあたり前の時代になりました。場所性を超越した部分もあります。半面、地域性に個性を持たせることが大事になり、一見変わっていない様に感じる世界も、実は変化しています。

後藤久嗣

かく
革



つづく
続

くぎれない、あとに従う。

齋藤金五郎

寅年のパワーストーン仕事運を高めてくれるタイガーアイにあやかって、よりいっそう仕事にはげめるようにしたいです。
小瀧美樹

とら
彪



あたらしい
新

変化した生活様式や考え方に適応し、新しいことを積極的に取り込んでいければと思います。
北條有希

学び、経験、想いを1つ1つ積み重ねて、成長していけるように常に心掛けたいと思います。

高橋百合子

つむ
積



2022年も、どうぞよろしくお願ひいたします。

